

（一社）日本損害保険協会より  
小型動力ポンプ付軽積載車寄贈



# 自分たちが守る

第2分団第9部の皆さん



# 自分たちのまちは

## 地域に根ざした消防団として

第2分団第9部（美し野）は、区内に居住する30・40歳代の8人で活動しています。団員全員が、会社員として働きながら、毎月第1日曜日に集まり、区内の消火栓の点検や訓練、火災予防の区民への呼びかけ、パトロール等を行っています。

他の分団では、ベテランの団員から消火技術等を教わり活動していると思いますが、私たちが全員、消防団の経験が浅いため、美浜消

防署員から指導をいただきながら活動しています。今回、新たに小型動力ポンプ付軽積載車の配備と消防団器具置場が新築されたことで、更にみんなで訓練し、練度を高めていきたいと思っています。

消防団は、地域に密着した組織であり、今後も地区の行事には積極的に協力していきたいですし、万が一災害が発生した際には、消防署と協力して迅速に活動していきたいです。



第2分団第9部 部長  
谷口 大介さん（美し野）

## 美浜消防署と第3分団第2部（河原市）の消防車両を更新

美浜消防署と美浜消防団第3分団第2部（河原市）では、ともに導入から20年以上が経過していた消防ポンプ自動車と小型動力ポンプ付軽積載車の経年劣化による性能低下に伴い、車両の更新を行いました。

美浜消防署に配備された消防ポンプ自動車は、効果的な消防活動を実現するため、水槽容量を極力維持しつつ、大型車から中型車に変更されたことで小回りが利き、狭い道路への進入も可能となりました。

また、第3分団第2部（河原市）に配備された小型動力ポンプ付軽積載車は、従前の軽トラックタイプからデッキバンタイプに変更されたことで、車内に4名が乗車可能となり、消防団員の安全性向上が図られました。



↑美浜消防署に配備された消防ポンプ自動車



↑第3分団第2部（河原市）に配備された小型動力ポンプ付軽積載車

◎美浜消防団第2分団 第9部（美し野）の発足  
近年、全国では、消防団員の減少や地域コミュニティの希薄化等、地域組織活動に乏しい傾向があります。そのような中、美し野区では新たに消防団を結成し、地域の消防力の充実を図るとともに地域に密着した活動を行っています。



↑配備された小型動力ポンプ付軽積載車と完成した消防団器具置場（詰所）

第2分団第9部（美し野）は、部長1人、団員7人の計

美し野区は、令和4年4月に町内38区目の行政区として設立されました。行政区の設立に併せて、美浜消防団第2分団第9部（美し野）を発足し、地域の消防防災リーダーとして活動しています。

8人で構成され、美し野区に居住する約200人の安全・安心を守っています。

配備された設備等を活用し、美し野区はもとより地域の安全・安心のために引き続きご尽力いただきたい」と消防団員を激励しました。

◎消防力の充実  
4月7日には、小型動力ポンプ付軽積載車の引渡式が美し野区内で行われました。

これは、第2分団第9部（美し野）の消防力充実を図るため行われたもので、新たに配備された小型動力ポンプ付軽積載車は、地域防災力の強化に係る活動が評価されたことにより、（一社）日本損害保険協会から寄贈されました。

式典終了後には、小型動力ポンプ付軽積載車を使用した消防訓練が行われ、消防団員は日頃の訓練の成果を披露していました。

引渡式で戸嶋町長は「全国的に地域防災の要である消防団の数が減少している中で、美し野区の皆さまが自分の地域は自分で守るという目的で消防団を発足された。新たに



↑小型動力ポンプ付軽積載車を使用した消防訓練

↓来場者の目の前でカフェラテを入れる田中さん



**世界一のカフェラテを堪能  
コーヒーとサンド**

3月23日に、「コーヒーとサンド」が道の駅若狭美浜はまびよりで開催されました。  
当日は、ラテアートの世界大会で優勝経験のある田中大介さんが世界一に輝いたカフェラテを提供した他、町内外のお店のコーヒー飲み比べ等が行われました。  
この日は、イチゴのプレゼント等が催された「ベリびより」も開催され、会場は多くの人で賑わっていました。

↓大型絵本の読み聞かせ



**物語の世界へようこそ  
こども図書館まつり**

3月23日に、こども図書館まつりがなびあすで開催されました。  
このイベントは、子どもたちに本の楽しさを知ってもらおうと町立図書館が毎年企画しているものです。  
当日は、巻きずしをイメージしたフリスビー作り体験やパネルシアター等が行われ、来場者は本と触れ合う時間を楽しんでいました。

↓電池推進遊覧船「Coot」から黄金の鍵の投湖を行う戸嶋町長（左）



**今年も観光シーズンがやってきた  
三方五湖開き**

4月6日に、三方五湖開きがレインボーライン山頂公園と美浜町レイクセンターで行われました。  
神事には、美浜・若狭両町長が出席し、レインボーライン山頂公園では「かわらけ投げ」が、美浜町レイクセンターでは「黄金の鍵と花束の投湖」が行われ、観光シーズンを迎える美浜・若狭両町の1年の賑わいと安全を祈願しました。



↑かわらけ投げを行う戸嶋町長（右）



**まちウォッチング  
atching**

↓新鮮な鮮魚を買い求める来場者たち



**美浜の旬が集結  
美浜ハートフル朝市**

3月24日に、地元でとれた新鮮な野菜や魚介類等を販売する美浜ハートフル朝市がはまびよりで開催されました。  
この朝市は、地元の農家や漁業者等で構成される美浜ハートフル朝市の会が開催しているもので、当日は100人を超える人が訪れました。  
朝市は、12月まで毎週日曜日に開催されます。

↓芝生の苗を植える参加者たち



**運動公園を地域の憩いの場として  
みんなで創る憩いの芝生広場**

3月24日に北西郷公民館で、30日に総合運動公園で芝生の苗植え作業が行われました。  
この作業は、町のすまいるコミュニティ事業の一環としてボランティアを募集して行われたものです。  
ボランティアによって芝生の苗を植えたのは、北西郷公民館が約4,000㎡、総合運動公園が約5,000㎡で、夏以降に全面が芝生になる予定です。

↓道の駅若狭美浜はまびよりに設置された『ポケふた』



**はまびよりに新たなスポット  
『ポケふた』設置**

3月14日に、ポケモンがデザインされたマンホール『ポケふた』がはまびよりの敷地内に設置されました。  
このマンホールの蓋は、ポケモンをプロデュースしている(株)ポケモンが、日本各地の魅力を発信すること等を目的に寄贈しているもので、県内6市町に設置されました。  
『ポケふた』は、直径63cmでふくい応援ポケモンのカイリユウ等がデザインされています。

↓美浜町公設塾放課後教室サンの子もたちによるサンマーケット



**行こうよ！おいでよ！  
美浜駅つながるフェスタ**

3月16日と17日に、美浜駅つながるフェスタがJR美浜駅とはまびよりで開催されました。  
この催しは、JR小浜線の利用促進や北陸新幹線敦賀開業等を記念して行われたものです。  
当日は、放課後教室サンの子もたちによる出店や、北海道物産フェア、ガチャガチャで行き先を決める小浜線ガチャ旅等が催され、会場は大いに賑わっていました。

↓健康づくり実践表彰 企業の部で最優秀賞を受賞した  
 (株)美浜モーターサービスセンター備前淳代表取締役(中央)



**広げよう!健康づくり  
 健康づくりフォーラム**

3月24日に、健康づくりフォーラムがはあとびあ  
 で開催されました。  
 この催しは、食生活の改善等による健康づくりの普及  
 のため、町と健康づくり推進協議会が開催したものです。  
 当日は、健康づくり実践団体の表彰やヘルシーおや  
 つの試食会等が行われ、参加者約100人は健康づく  
 りについて理解を深めていました。

↓戸嶋町長に受賞を報告した太田 enjoy 農楽舎の山路代表(右)



**太田 enjoy 農楽舎  
 日本蕎麦協会会長賞を受賞**

4月4日に、第35回全国そば優良生産表彰の受賞  
 報告会が町役場で行われました。  
 この表彰は、(一社)日本蕎麦協会が日本各地の模  
 範となる生産者を表彰するもので、太田 enjoy 農楽舎  
 が同協会会長賞を受賞しました。  
 山路俊彦代表は「幅広い世代が地域ぐるみで活動し  
 ていることが評価された」と喜びを報告していました。

↓意見交換をする参加者たち



**エネルギーの町で学ぶ  
 美浜エネルギーキャンプ 2024**

3月29日、30日に、美浜エネルギーキャンプ2024がき  
 いばす等町内で開催されました。  
 この催しは、エネルギーの探究学習に取り組む全国の  
 高校生等を対象に、エネルギー環境の理解促進を目的と  
 して、町と福井南高等学校が共催で実施したものです。  
 参加者22人は、電池推進遊覧船等の体験や意見交換  
 等を通じて、エネルギーへの理解を深めていました。

↓模擬火点に放水を行う消防職員



**有事の際に対処する  
 林野火災防御訓練**

4月10日に、林野火災防御訓練が芳春寺(佐田)  
 において行われました。  
 この訓練は、林野火災時に使用する資機材の取扱習熟  
 及び火災防御技術の向上を図ることを目的に美浜消防署  
 が行ったものです。  
 訓練に参加した消防署員は、消火手順を確認しながら円  
 滑に消火訓練を行っていました。

↓選手宣誓を行う美浜中学校 金森有咲さん(左)と志賀奎太さん(右) ↓力強く艇を漕ぐ選手たち



**全国から選ばれた96人がカ漕  
 第19回  
 全国中学校選抜ローイング大会**

【大会結果(敬称略)】

	男子の部	女子の部
優勝	仲倉 準翔 (鳥取ジュニアRC)	今井 美緒 (鳥取ジュニアRC)
2位	和多田 海吏 (美浜中学校)	藤庭 楓菜 (琵琶湖漕艇場BRC)
3位	田邊 湊一 (清風中学校)	小村 帆乃海 (ぎふジュニアボートクラブ)
4位	川上 亮太 (福山ボートクラブ)	眞部 碧葉 (あいづローイング)
5位	廣野 航平 (大沢野中学校)	金森 有咲 (美浜中学校)
6位	中嶋 文稔 (ぎふジュニアボートクラブ)	加藤 沙理衣 (入野中学校)
7位	吉池 奨 (琵琶湖漕艇場BRC)	吉田 さくら 晴蘭 (大分県Jrローイングクラブ)
8位	澄川 佳汰 (鳥取ジュニアRC)	榎本 唯 (米子漕艇クラブ)

**町内の小学校新1年生へ  
 キッズ用防犯ブザー贈呈**

3月18日に、福井エフエム放送(株)の堀謙社長が  
 町役場に来庁され、キッズ用防犯ブザーの贈呈を行いま  
 した。  
 防犯ブザーの贈呈は、平成15年から毎年行われており、  
 今年は町内の小学校の新1年生61人に贈られました。  
 堀社長は「子どもたちの安全安心のため、この防犯ブ  
 ザーを役立ててもらいたい」と話されていました。

↓加藤教育長(左)に目録を贈呈する堀社長(右)



↓北陸新幹線と記念撮影をする参加者たち



**小浜線に乗って新幹線を見学  
 北陸新幹線探検ツアー**

3月23日に、北陸新幹線探検ツアーがJR敦賀駅等で  
 開催されました。  
 このツアーは、北陸新幹線敦賀開業記念及び小浜線の利  
 用促進を目的に町が企画したもので、町内の親子65人が  
 午前と午後に分かれて参加しました。  
 参加者は、美浜駅から電車に乗り、初めて乗る小浜線や  
 北陸新幹線を見て感動する等、ツアーを満喫していました。



### 美浜町第9期介護保険事業計画及び 高齢者福祉計画を策定

■お問い合わせ先  
町健康福祉課(担当・山本)  
☎32-6704

町では、このほど、第9期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画を策定しました。介護保険事業計画は、介護保険法に基づき、介護保険事業の円滑な実施を図るために定めた計画で、高齢者福祉計画は、老人福祉法に基づき、老人福祉事業の目標を定めた計画です。

本町では、これらの計画を一体的に策定することで、介護保険及び福祉サービスを総合的に展開することを目指しています。第9期計画では、高齢者を取り巻く社会情勢の変化や諸課題に対応するため、本町における高齢者施策及び介護保険事業の取り組みべき事項を整理し、地域包括ケアシステムの更なる深化・推進に取り組みと、地域共生社会の実現を目指しています。

計画の策定には、学識経験者や保健医療・福祉関係者等で構成される「美浜町介護保険

- ◎基本目標
  - ①安心して暮らせる地域をつくらう
  - ②心身ともに健康にいきいき暮らせるまちをつくらう
  - ③安心して介護サービスを利用できるまちをつくらう
- 今後、町では高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるための基礎作りを行い、あらゆる世代がともに支え合い、安心して暮らすことができる地域共生社会の実現に向けて取り組みを進めていきます。



### 日本ポート・オブ・ザ・イヤー 2023 電池推進遊覧船とエネルギー供給システムが特別賞を受賞

■お問い合わせ先  
町観光誘客課(担当・武田)  
☎32-6705

↓表彰式で挨拶する戸嶋町長



3月21日に、神奈川県横浜市のパシフィコ横浜で日本ポート・オブ・ザ・イヤー2023の表彰式が行われました。この表彰は、ボート等の開発・製造事業者を称えることにより、性能・品質・安全の向上を促し、地球環境保護や水上安全に繋げることを目的に、日本ポート・オブ・ザ・イヤー2023実行委員会(一般社団法人日本マリンス業協会内)が毎年開催している。

三方五湖観光の目玉として進めてきた本プロジェクトが、このような名誉ある賞をいただき、大変嬉しく思っている。美浜には、秘密にしたいくなるようなすばらしい景色がある。国内外問わず、多くの人たちに訪れていただき、美浜の魅力を感じてほしい。」と述べていました。

今回の表彰では、本町が国立大学法人東京海洋大学とともに共同研究により開発した電池推進遊覧船と、発着施設である美浜町レイクセンターに導入した、再生可能エネルギーによる電力のみで船を運航させるエネルギー供給システムの取り組みが評価され、特別賞を受賞しました。表彰式には、戸嶋町長と東京海洋大学の山田特任教授が出席。戸嶋町長は、「北陸新幹線敦賀開業等を見据え、



### 第4期美浜町健康づくり計画及び 第2期美浜町国民健康保険保健事業実施計画を策定

■お問い合わせ先  
町健康福祉課(担当・中西)  
☎32-6704  
町住民環境課(担当・浜野祥子)  
☎32-6703

町では、このほど、第4期美浜町健康づくり計画「健康みはま21」及び第2期美浜町国民健康保険保健事業実施計画「データヘルス計画」を策定しました。健康みはま21は、町の健康課題である心臓病や脳血管疾患等の循環器疾患を予防するため、減塩と減量を2本柱とする健康づくり運動を強化して推進するもので、データヘルス計画は国民健康保険被保険者の健康保持と増進に資することを目的としています。今回策定した健康みはま21は、これまでの健康づくり運動「げんげん歩楽寿」を「げんげん運動プラスUP」にバージョンアップし、糖質の適正摂取を切り口に減量対策を強化しました。

- ◎健康増進の取り組み
  - ①自分の健康に関心を持てる環境整備
  - ②げんげん運動プラスUPの推進
  - ③禁煙対策
  - ④重複・多剤の取り組み
  - ◎生活習慣病の重症化予防の取り組み
  - ①糖尿病性腎症
  - ②肥満・メタボリックシンドローム
  - ③虚血性心疾患
  - ④脳血管疾患
- 今後、町では、当計画に基づき「健やかでぬくもりのあるまち」を目指して健康づくり施策を推進していきます。



### 美浜町障がい者基本計画 第7期障がい者福祉計画及び第3期障がい児福祉計画を策定

■お問い合わせ先  
町健康福祉課(担当・津原)  
☎32-6704



↑美浜町障がい者基本計画・第7期障がい者福祉計画及び第3期障がい児福祉計画

町では、このほど、美浜町障がい者基本計画・第7期障がい者福祉計画及び第3期障がい児福祉計画を策定しました。本計画は、本町における障がい者福祉施策の中核をなす計画で、この計画に基づいて各施策を進め、障がいの有無に関係なく誰もが相互に人格と個性を尊重し、支え合う社会の実現を目指すものです。本計画の策定にあたっては、学識経験者や福祉団体、福祉サービス事業者及び関係機関等で構成する「美浜町障害者基本計画等策定委員会」において審議を行い、さまざまな視点から内容を検討するとともに、当事者のニーズや意見を反映させるため、障がい者及び障がい児を対象としてアンケート調査を実施しました。

- ◎基本目標
  - ①ともに生きるまち
  - ②適切な支援が受けられるまち
  - ③安心して生活できるまち
  - ④自分らしく生きられるまち
- 町では、本計画に基づき、障がい者への理解を深める啓発に加え、障がい者の意思疎通支援等により、地域で支え合う意識と体制づくりを進め、障がい者の特性を踏まえた多様な支援を提供できる体制を確保すること、あらゆる場面や分野において障がい者が安心して自分らしくいきいきと生きられるまちを目指していきます。